

第460回白石市議会定例会 一般質問通告書

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	11番 佐久間 儀 郎	<p>1. 令和5年度施政方針について</p> <p>(1) 人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいしへ! について</p> <p>市長は、令和5年度は新たな施策が動き出す変化の年であるとし、以下の3施策を挙げられています。1つ目として、本年4月、教育機会確保法施行後全国初となる小中一貫の不登校特例校「白石きぼう学園」が開校すること。2つ目として、公立刈田総合病院が白石市立病院として指定管理者制度を導入し、本年4月に新たなスタートを切ること。3つ目として、新年度において「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」とその周辺施設の整備事業が、早期供用開始に向けて本格始動することです。これらの施策は、これまで積み上げてきた取組の成果であるとして、本市が大きな飛躍を遂げるチャンスであると述べられています。そしてチャンスの芽をしっかりと育てることによって、本市が目指す将来像「人と地域が輝き、ともに新しい価値を創造するまち しろいし」の実現が図られるよう、積極果敢に全力で取り組んでいく決意表明をされました。</p> <p>私も、以上の3施策は、本市にとって明るい兆候であると捉えていますし、当局が積み上げてきた取組の成果であると評価するものです。</p> <p>① まず、これまで市政課題解決に向け全力疾走で取り組まれてきた市長の思いと、市政運営にかかる基本的な考え方をお聞かせください。</p> <p>② 不登校特例校「白石きぼう学園」について。「白石きぼう学園」開校準備は、着実に進行していると思いますが、1点目、「白石みらい教育基金」造成後の成果、2点目、家庭・地域・企業・行政との連携一体化の状況、3点目、学校側として特例校教員配置は充分になされているのかを伺います。</p> <p>③ 白石市立病院となる公立刈田総合病院について。市長は、刈田総合病院は「市民の命と健康をまもる砦」とし経営健全化のため、公立病院として維持しながら、医師確保を含め実績ある医療法人等の病院経営手法を活かせる指定管理者制度を導入して、良質な医療提供を実現していく姿勢を頑固に貫いてきました。長年の曲折・経緯を経て、新年度から、指定管理者制度を導入する白石市立病院として再スタートしますが、刈田総合病院の将来の姿を具体明確に市民に</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	11番 佐久間 儀 郎	<p>示せないのでは困ります。市長には、みやぎ県南中核病院との「仙南地区地域医療構想連携プラン」を軸にして、病院がどのような診療科になり、入院、外来も安心して診療が受けられ、救急患者受入れ体制など、具体的に説明する責任があります。市民の周産期医療への期待も大きいわけで、確かな地域の基幹病院たることを説明すべきです。先般、報道によって「医療法人仁誠会」の準備体制づくりが紹介されましたが、市行政当局自らが積極的に広報媒体等を用いて市民の不安を払拭する努力が求められていると考えます。市長の見解を伺います。</p> <p>④ 「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」とその周辺施設の整備事業について 定例会初日に、スマートインターチェンジ設置推進特別委員会の中間報告がありました。用地測量、用地契約等がほぼ計画通り進んでいると承知しています。施政方針と関連して以下伺います。</p> <p>④-1 本年2月7日現在で、工業団地内の道路の用地契約率は、90.1%、工業団地用地は78.2%ということでした。大きく前進しておりますが、中に未契約になっている工業団地用地内の地権者から借用して、農地集積した大規模営農の方々は、代替え圃場を探せないと今後の営農に大きく支障が生じます。まさに深刻な生活問題を抱えているということです。「宮城白石産ササニシキ復活プロジェクト」にも深く関与されている方々とも耳にします。当局は、なんとしても営農継続ができるよう対応すべきであります。代替え交渉状況、当局の対応をお聞きします。</p> <p>④-2 昨年度の施政方針では、「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」とその周辺施設の整備事業が、整備効果を最大限享受できるように、一般国道4号の4車線化延伸の実現が必要不可欠。関係機関と連携しながら力強く推進する」と表明していましたが、5年度方針にはそうした記述がありません。これまで一般国道4号の4車線化延伸を国に要望されていると思います。要望活動と要望に対する感触、事業実現の見通しなど、現在の状況をお聞かせください。</p> <p>④-3 「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」とその周辺施設の整備事業に関連して、新たな水道施設として配水管の実施設計</p>	市 長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	11番 佐久間 儀 郎	<p>業務を進めること。またスマートインターチェンジ周辺の未普及エリアを解消するため、公共下水道管路整備実施設計業務を行うことが施政方針で述べられています。簡易水道使用の周辺住民の方々にとって、ライフラインにかかる整備に大きな期待を抱くものと考えます。国道4号の拡幅事業化と相まって上下水道の管路整備が手戻りなく無駄なく行われることが求められます。そうしたことを踏まえた設計業務であると想定しますが、当局の計画を伺います。</p> <p>④-4 スマートインターチェンジ設置推進特別委員会の質疑の中で、「道の駅」に隣接する消防施設用地は、消防署の移転用地をイメージしていると答弁されています。市は事業主体たる仙南地域広域行政事務組合とどのように協議をしているのか。状況をお聞かせください。</p> <p>④-5 「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」周辺に整備する「道の駅」と「スポーツレクリエーション拠点施設」に地域の防災拠点としての機能を持たせることで、地域の安全・安心を高めるとしています。具体設計はどのような内容でしょうか、お聞かせください。</p> <p>(2) 地方創生について 「『白石市まち・ひと・しごと創生「第2期総合戦略」』に基づき、「第六次白石市総合計画」との整合性を図りながら地方創生をさらに深化させ、本市の目指す将来像を実現するための施策を推進します。」という昨年度の記述が本年度は見当たりませんが、地方創生をどのように進められるのかお聞かせください。</p> <p>(3) 「第六次白石市総合計画」に掲げる分野目標1 <人・文化を育む>について</p> <p>① 教育課題の解決や取組の一層の発展に向けて文部科学省職員の知見を活用するため、前年度に引き続き「地方教育行政アドバイザー」の派遣を申請すると述べていますが、派遣効果をどのように判断しているのかお伺いします。</p> <p>② 生涯学習・スポーツの推進において、既存のスポーツ関連資源を活用するとともに、令和4年度内に設立予定の「(仮称)白石市総合型地域スポーツクラブ」の活動を支援するなど、生涯</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	11番 佐久間 儀 郎	<p>スポーツを楽しむことができる環境の充実が図られる、と述べています。当市はこれまで市民それぞれのライフステージに応じて、気軽に多種多様なスポーツを楽しむことができるシステム構築を目指してきており、ついに「総合型地域スポーツクラブ」が設立される運びになったことを大いに歓迎します。白石市総合型地域スポーツクラブの具体的な内容をお知らせください。</p> <p>③ 生涯学習・スポーツの推進において、公民館を拠点に豊かな社会生活を送ることができるよう、市民の興味や関心に応じた学びを支援すると述べています。実は、地区公民館活動の社会教育活動の一貫で、社会研修の移動手段に本市社会福祉協議会のバスを利用してきたところ、突然利用できなくなって、大変不満であるとの声を聞くようになりました。こうした事態に当局はどのように対応されるのか、お考えをお聞かせください。</p> <p>④ 歴史遺産・伝統文化の継承と活用において、地域の歴史遺産・伝統文化を掘り起こし、子供から壮年層が参加しやすい活動形態を意識して、市民に対して魅力を発信する取組を行うとしていますが、具体的にはどのような活動形態を考えているのか伺います。</p> <p>(4) 「第六次白石市総合計画」に掲げる分野目標2 <みんなで地域づくりを進める> について</p> <p>① 持続可能な多機能型自治の形成には、促進するための研修会の開催や関係者の相互交流の機会が何としても必要です。形成に至らない自治組織向けに先進多機能型自治からのノウハウの享受や人的な応援の機会を行政が積極的に仲介するなどが求められていると考えます。いかがでしょうか。</p> <p>② 「ふるさと納税寄付金」は、シティプロモーションと捉えているということですが、年々、大変に大きな伸びを示しています。なお一層、納税寄付金に関する利便性の向上や返礼品の充実を図るべきです。同時に、「企業版ふるさと納税」の拡充も必要です。自主財源の確保の観点、また地方創生の観点から、戦略的な対策、増額を図るための対策を伺います。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	11番 佐久間 儀 郎	<p>(5) 「第六次白石市総合計画」に掲げる分野目標 3 <暮らしをともに支え合う>について</p> <p>① 県の補助金を活用し、子供が安心して過ごせる居場所づくり事業を行う団体・個人の活動を支援することで、子供が夢や希望を持って成長できる環境づくりに努めるとしてはいますが、具体的にお聞かせください。</p> <p>② 「造血幹細胞移植後ワクチン再接種費用補助金」「医療用ウィッグ購入費助成事業」を継続し、骨髄バンクの普及促進を図るため、新たにドナーとして骨髄の提供をされた方などに「骨髄バンクドナー助成金」を新年度から交付するということですが、詳しくお知らせください。</p> <p>(6) 「第六次白石市総合計画」に掲げる分野目標 4 <安全・安心を守る>について</p> <p>① 消費者行政の推進について 今もって特殊詐欺や悪質商法などの被害が後を絶ちません。広報紙やホームページを活用した情報の提供や世代に応じた啓発活動はたゆまずに進めていくことが肝心なことと考えます。同時に消費生活相談員の知識と技能の習得が大切です。複雑で高度な判断が求められる案件もあろうかと思えます。法的な知識も求められるのではないのでしょうか。相談対応機能の向上策についてお伺いします。</p> <p>(7) 「第六次白石市総合計画」に掲げる分野目標 5 <活力・賑わいを創る>について</p> <p>① 農業支援のため導入したジャイロレーキやロールベラーなどの共同利用機械の活用状況と市民の感想を伺います。</p> <p>② 有害鳥獣対策は、野生イノシシによる農林作物への被害が大きいことから、捕獲による個体数の調整のため、電気柵などの設置や箱わな製作への補助を継続し、被害防止対策の強化に努めるとしてはいます。大崎市において資源と捉え「ジビエ料理」を普及させる活動があると報道で知りましたが、放射能汚染や豚熱などを懸念する環境下にあることを考えると、本市での取組は難しいのではないかとはいえますが、行政はいかにお考えになっているかをお聞かせください。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
1	11番 佐久間 儀 郎	<p>③ 特産品・伝統産品の振興として、白石温麺や白石和紙、弥治郎こけしなどの特産品・伝統産品の販路拡大や、継承・発展に対する取組を支援するとしています。昨年の12月定例会で同僚が一般質問のテーマに取り上げています。私も白石らしさを保つためには、特産品・伝統産品の振興は、喫緊の課題であると考えます。積極的に行政の手厚いバックアップが求められます。見解をお聞かせください。</p> <p>④ 本年が登別市との姉妹都市締結40周年を迎えることから、市民訪問団の派遣や式典の開催などの記念事業を実施すると述べられましたが、具体計画をお聞かせください。</p> <p>(8) 「第六次白石市総合計画」に掲げる分野目標6 <まちの未来を描く>について</p> <p>① 公共交通網の確保について</p> <p>地域の公共交通網の維持は、通院や買い物などの市民の日常生活の移動手段となる市民バスや乗合タクシーの運行を継続し、令和5年度から5か年計画期間とする「白石市地域公共交通計画」に基づき市民が安心して暮らし続けることができる公共交通の確保を行うとしています。高齢者や不便な地域に住む市民の移動支援について、また病院受診者の移動の便利さを支援するため、市民バス運行の検証、乗合タクシー拡張やあるいはデマンド交通などについてはどのように検討されているのでしょうか。伺います。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	1番 高子秀明	<p>1. 令和5年度施政方針について</p> <p>(1) 「人・文化を育む」について</p> <p>① 「教育改革第2ステージ」と称した令和5年度の学校教育において、本年4月に開校する不登校特例校「白石きぼう学園」の令和5年度入学予定者数と教職員の体制について伺う。</p> <p>② 令和4年度における「地方教育行政アドバイザー」の具体的な実績と成果及び今後の期待について伺う。</p> <p>③ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させるとありましたが、具体的にはどう対応していくのか伺う。</p> <p>④ 『令和4年度は「しろいし蔵王高原マラソン大会」や「若林弁天パーク落成式」、各地区の祭りをはじめとするさまざまな行事に小中学生が積極的に参画するなど、自己有用感などの非認知能力の醸成が進んでいることを感じることができました。』とありますが、そのように感じさせる小中学生の取組を具体的に伺う。</p> <p>⑤ 「学校教育・保育審議会」の審議において、遠くないうちに答申がなされる見込みとのことですが、その答申はいつまで出されるか伺う。</p> <p>⑥ 「学校教育・保育審議会」のこれまでの開催回数と審議内容において学校統廃合などが話し合われているか伺う。</p> <p>⑦ 「地域全体の教育力の向上と地域力の活性化を図ります。」とありますが、本市として具体的にどう取り組むのか、特に地域全体の教育力の向上とは、どのような構想なのか伺う。</p> <p>(2) 「みんなで地域づくりを進める」について</p> <p>① 行財政運営について、「市民の利便性の向上と業務の効率化を図るため、行政手続のオンライン化等を進めるとともに、地域の特性や抱えている課題を踏まえた重点的な施策の推進を図ります。」とありますが、具体的な今後の取組を伺う。</p> <p>② 令和3年度から開始した「メンター制度」を継続するとありますが、制度導入以前との比較や</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	1番 高子秀明	<p data-bbox="584 271 823 304">今後の期待を伺う。</p> <p data-bbox="504 344 1031 378">(3) 「暮らしをともに支え合う」について</p> <p data-bbox="528 387 1182 757">① 本年4月1日、「こども家庭庁」が発足し、子供のための施策が一元的に進められる。本市の事業「子ども医療費助成」における助成対象年齢拡大の検討と、本市の「学校給食費無償化」に向けて、宮城県市長会が昨年9月に国に対し財政支援の要望書提出したのち、宮城県知事に対して同市長会から学校給食無償化を含めた「子育て先進県みやぎの実現に向けた要望書」を12月に提出した後の県と国への問いかけについて、その2点の今後の取組を伺う。</p> <p data-bbox="528 801 1182 1104">② 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、より一層の介護予防事業や認知症施策、高齢者福祉サービスの推進に努めますとありますが、市長の考えている「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けること」とは具体的にどのようなことをイメージとして考えているのか伺う。</p> <p data-bbox="504 1149 1182 1373">(4) 「安心安全を守る」について 「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ」周辺に整備する「道の駅」と「スポーツレクリエーション拠点施設」に地域の防災拠点としての機能を持たせることで、地域の安全・安心を高めます。とありますが、具体的な地域防災拠点としての機能を伺う。</p> <p data-bbox="504 1417 1182 1641">(5) 「活力・賑わいを創る」について</p> <p data-bbox="528 1451 1182 1641">① 農家支援のため導入したジャイロレーキやロールベアラーなどの共同利用機械を活用し、作業の効率化を推進します。とありますが、昨年度の利用実績と共同利用についての課題について伺う。</p> <p data-bbox="528 1686 1182 2016">② 農産物等販売施設「おもしろいし市場」は、令和3年4月から、指定管理者運営施設として新たにスタートしており、農業生産者や物産事業者にとって販路拡大を実感できる施設として、好調な運営を維持している実績がありますが、今後、「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ周辺整備事業」における「道の駅」の機能のうち、白石市の名産品など物産販売コーナーも整備されると想像できますが、その際は「</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
2	1番 高子秀明	<p>おもしろいし市場」との競合が懸念されます。当該2施設において農産物等の販売に差別化が図られるのかを含めての構想を伺う。</p> <p>③ 商工業の振興は、新型コロナウイルス感染症やロシアのウクライナ侵攻の影響により、市内経済は非常に厳しい状況にありますが、市長の本市経済状況をどのように捉え、認識しているのか伺う。</p> <p>④ 中心市街地の賑わいの創出を図ります。とありますが、今後、市と中心商店街の方々と連携を図る具体的な方策はあるのか伺う。</p> <p>(6) 「まちの未来を描く」について</p> <p>① 「利便性の高い公共交通網の確保は、通院や買い物など市民の日常生活の移動手段となる市民バスや乗合タクシーの運行を継続し」とありますが本市公共交通利用者の意見等どのようなものがあるのか伺う。</p> <p>② 今後、公共交通利用者の利便性向上についての本市の考えについて具体的にお聞かせください。</p> <p>③ 下水道事業は、「白石市下水道ビジョン」に掲げた「強靱」「持続」「安全」の基本方針を実現するため、「雨水管理総合計画」「内水浸水想定区域図（内水ハザードマップ）」策定のための調査に着手し、雨水対策の取組を進め、安全な生活環境の構築を目指します。とありますが、「雨水管理総合計画」策定の経緯とそれに係る地域の安全確保及び予防対策について伺う。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	18番 松野久郎	<p>1. 本市の行財政について</p> <p>令和5年度は、第六次白石市総合計画の3年目となります。厳しさを増す地方財政の中で持続可能な行財政運営の推進のため、自主財源の確保に努めつつ、地域の特性や抱えている課題を踏まえた重点的な推進を図るとともに、効率的で効果的な事務事業の実施を推進すると、施策の方向性を示しております。行政運営の基本原則は、最少の経費で最大の効果を上げるよう、常にコスト意識と効率性・効果性を追求した事務事業を行わなくてはならないことですが、第六次白石市総合計画、分野目標2の5「持続可能な行財政運営」について、令和4年度の予測値と令和5年度の目標値について伺います。</p> <p>(1) 経常収支比率については、中間期目標（令和7年度）を91.0%としております。今年度予測値及び来年度目標値を伺います。</p> <p>(2) 実質公債費比率については、中間期目標（令和7年度）及び第六次白石市総合計画最終年度（令和12年度）目標を6.0%としております。今年度予測値及び来年度目標値を伺います。</p> <p>(3) 来年度から公立刈田総合病院が、白石市立病院としてスタートします。来年度の本市の「将来負担比率」の予測値について伺います。</p> <p>(4) 令和4年度及び令和5年度の健全化法予測において、本市の財政の状況をどのように分析しておられるのか市長の所見を伺います。</p>	市長
		<p>2. 街路灯と防犯灯について</p> <p>第420回定例会において質問をいたしました。7年が経過しましたので、改めて質問いたします。街路灯とは、夜間における道路状況、交通状況を的確に把握するために設置する照明灯をいい、防犯灯は、安全対策として主に住宅地及びその周辺の暗い場所に防犯を目的に設置する照明灯をいいます。街路灯については、「白石市街路灯維持補助金交付規則」が、商店街と温泉街の振興と交通の安全を図るために設けられております。</p> <p>そこで次の点について伺います。</p> <p>(1) 現在、市内に設置されている街路灯及び防犯灯の数量について伺います。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	18番 松野久郎	<p>(2) 補助金の対象の街路灯の設置場所及び数量と電気料金の補助金額を伺います。</p> <p>(3) 白石市街路灯維持補助金交付規則第2条第3号に記載の「・・・公道上に設置する白熱街路灯、高圧水銀街路灯、ネオン街路灯及びネオンアーチをいう」とありますが、現在、LEDの設置が無いのか、あるとすればその対応について伺います。</p> <p>(4) 商店街においては空き店舗、各地区でも空き家や高齢者世帯が増加する中、防犯灯に係る電気料金は自治会で負担しております。昨今の電気料金の高騰を踏まえ、定額である防犯灯も電気料金が高騰しております。地域に設置の防犯灯は防犯を目的に設置しているとありますが、街路灯と同様に道路状況や交通状況を的確に把握するためにも寄与しております。本規則が制定されたのは、昭和44年であり、生活環境や道路事情、交通量も大きく変わっております。この規則の見直しをするとともに、防犯灯においては、電気料金高騰分の差額に対する補助金を出すことを求めますがいかがか伺います。</p>	市長
		<p>3. スパッシュランド休館に伴う今後の対応について</p> <p>前回の定例会において、同僚議員からの質問がありましたが、令和4年度末を持つての休館に伴い、代替施設等についての方向性が必要と考えることから質問いたします。</p> <p>(1) スパッシュランドの代替施設として、今後、市内中心部に市営プールを建設する構想については、先と同僚議員の質問に対する回答で、市長は持続可能な白石市政を考えていく上で、市民のご要望に答えるべく、将来の負担等様々な観点から総合的に判断していくとのことでした。現在、市内には民間事業者のプールがあります。人口減少の中、市内に新たに市民プールを建設することは、市長の答弁のように民業圧迫に繋がることも踏まえ、新たな市民プールの建設の構想ではなく、民間事業者のプールをいかに活用させていただくか、官民連携をも模索しながら検討する必要があると考えますが、市長の所見を伺います。</p> <p>(2) 現在、小原小中学校及び福岡中学校の児童・生徒が市内の民間プールを活用しています。他の小中学校の児童・生徒についても、天候や気温に左右されず利用できるプールが必要です。また、現在のスパッシュ</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
3	18番 松野久郎	<p>ランド利用者にも考慮しなければなりません。民間プールの会員の皆様にも考慮する必要があります。これらを総合的に検討すると市内の民間事業者プールを活用するためには、プールや敷地の規模もありますし、行政として様々な課題をクリアする必要があります。民間事業者からのご協力が得られるとした場合、本市としての対応について伺います。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	9番 平間知一	<p>1. 白石市立病院について</p> <p>2月16日に行われた衆議院総務委員会での質疑の中で、「コスト削減が評価される指定管理者への発注の在り方は見直すべきであり、そこで働く方の環境が良くなる指定管理であるべきではないかと考えるが、いかがか」との質問に対し、尾身副大臣は、「指定管理者の選定基準の設定にあたっては、公共サービスの水準確保の観点が必要であること、施設の様態に応じた指定管理者の適切な評価が必要であること、委託料は適切な積算に基づくものであることなどを示している。地方公共団体が、公共サービスの水準をどのように考えるのか、その水準を達成するために必要な費用を誰が、どのように負担するのかなど公の施設の在り方を十分に議論した上で、指定管理者の選定や委託費の決定にあたっては、労働法令の遵守や雇用、労働条件の適切な配慮を含め、地方公共団体と指定管理者との間で十分に協議した上で定めることが重要だと考えている」と答弁しています。</p> <p>やはり、私は尾身副大臣答弁のとおり、指定管理制度の導入にあたっては適切な配慮が必要であり、まさに市長が日頃、職員に対して言っている「地域医療の要としての大事なお一人お一人」の職員を思うのであれば、コスト削減ありきではいけないと考えます。</p> <p>(1) 基本協定の締結等について 他の類似事例を見る限り、市立病院の指定管理を行う上で、基本協定が締結されていくものと考えております。 このことを踏まえ、以下の2点を質問します。</p> <p>① 基本協定書が定まっていれば、その概要について伺います。</p> <p>② 基本協定書は、今後管理運営していく中で、見直しによる変更もあるのか伺います。</p> <p>(2) 白石市立病院の運営について 令和5年4月より公立刈田総合病院は、白石市立病院として運営がスタートするにあたり、次の点について伺います。</p> <p>① 広報しろいし1月号において、みやぎ県南中核病院との「連携プラン」に基づく医療機能の分化や連携を推進すると掲載がありました。一方、県の保健福祉部長は環境福祉委員会において、「令和2年度に、公立刈田総合病院とみやぎ県</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	9番 平間知一	<p>南中核病院の設置者が公立病院であることを前提に検討を重ねてきた。その後、実際に指定管理者も決定した。県としては、令和2年度当時に構想を進めていた両病院の具体的な連携プランについては、県の医療計画に書いているように必要であると思っているが、具体的な職員の数とか、病床数の目安を定めた当時の連携プランの姿は、仁誠会が、どのような病院の姿を示すかにかかっていると思っている。県としては、「注視したい」と答弁しています。市として連携プランは維持されると考えているのか、また、維持に向けた県との対応について伺います。</p> <p>② 広報しろいし1月号において、4月以降の病院の診療科目は「現行を維持」と掲載されていますが、そのとおりでよいか伺います。また、現行の診療科を維持できる医療従事者を確保できたのか、その人数について職種別に伺います。医療従事者が確保できていない場合、その要因について伺います。</p> <p>③ 医療従事者の賃金等の実態について、仁誠会が現在働く職員に提示した労働条件通知書に提示された基本給は、現在より8割以上が引下げになるとの調査結果が職員組合から報告されています。また、賞与の支給月数も大幅に減少する提示がされており、医療従事者の生活基盤に大きな影響を与えるものです。白石市立病院として地域医療を守る人材確保に向けた対応について伺います。</p> <p>④ 指定管理者である仁誠会は、就業場所について「今後の事業展開、配置転換及び人事異動により刈田病院以外の就業場所で勤務していただく可能性はあります」と回答しています。市長はこれも承知しているのでしょうか。医療従事者の確保と言いながら転勤があるかもしれないということでは、実質退職せざるを得ない状況になります。転勤の可能性はないように働きかけるべきと思いますが、市長の見解を伺います。</p> <p>⑤ 令和5年度の健康診査のお知らせについて、白石市が行う「基本健康診査・特定健康診査・後期高齢者健康診査」のできる医療機関から公立刈田総合病院の記載がなくなりました。人間ドックも調整中となっています。24時間断らない</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
4	9番 平間知一	<p>救急ができる病院が、各種基本診査もできない病院になっていることに対して、不信感を覚えるのは私だけでしょうか。市長は、スマートインターの建設による工業団地の整備を行い、企業誘致を行うとしていますが、企業が立地する要因の大きな柱は充実した医療です。白石市立病院となってから健康診査は行われなくなるのか伺います。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
5	2番 佐藤龍彦	<p>1. ごみ出し支援について</p> <p>第434回定例会でも質問させていただきましたが、高齢者等の「ごみ出し」支援についてお聞きいたします。近年、高齢化による生活支援を必要とする方が増えています。本市においても、3人に1人が65歳以上となり、実際、日常の生活を送るにも支障を来すような状況となっているように思われる方々も見受けられるようになってきました。そういった方々に対しては、地域の皆さんの協力や支援がなければ、ご自宅で暮らしていくことはできません。また、本市においても、独り暮らしの高齢者も増え続けている状況にもあります。そうした中で、様々な自治体が、高齢者等の「ごみ出し」支援などを実施しています。また、市民の皆さんから粗大ごみを搬出する際の運搬に大変ご苦労されているという声も寄せられました。</p> <p>そこで、次の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) ごみ出しが一人で難しい、身体の機能に不自由を来すなど、日常生活を送ることに支障を来すような高齢者・障害者の方々の実態について、本市の認識を伺う。</p> <p>(2) 高齢者等、「ごみ出し」などの日常の生活に支障を来すような場合、本市はどのように対応されているのか伺う。</p> <p>(3) 「ごみ出し」支援策として、地域の皆さんの協力を得やすくするために、協力者に対してポイント(地元商店街等で買い物などに使える)を付与するなど、積極的に支援する仕組みを考えていく必要があると思うが本市の考えを伺う。</p> <p>(4) 本市でも粗大ごみ等の搬出のために、粗大ごみ処理券等による「ごみ出し」の仕組みを実施できないか伺う。(仙台市等で実施)</p> <p>(5) 今後、高齢者・障害のある皆さんを地域で支えていくために、どのような「ごみ出し等」支援を考えているのか伺う。</p>	市長
		<p>2. 子育て応援住宅について</p> <p>本市、東大畑地区にある子育て応援住宅についてお聞きいたします。子育て応援住宅は、本市が2016年に子育て世帯の子育ての支援と定住促進のために取得しました。しかし、近年は少子化も影響しているのか、</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
5	2番 佐藤龍彦	<p>入居率も伸び悩んでいるとお聞きしています。 そこで、子育て応援住宅について、新たな入居者の確保や今住んでいる方々の実情や課題等、次の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 現在の子育て応援住宅の入居状況について伺う。</p> <p>(2) 子育て応援住宅において、現在どのような課題があるのか伺う。</p> <p>(3) 現在、入居されている方々から寄せられている要望等について伺う。</p> <p>(4) 現時点で、子育て応援住宅に入居者されている方が退去し、市内に新たに住宅を取得する際に交付される「白石市子育て応援住宅入居者向け定住促進補助金」の交付実績について伺う。</p> <p>(5) 入居資格の義務教育修了前の子供を1人以上養育していることという条件を、18歳までとすることはできないのか伺う。</p> <p>(6) 少子化が進んでいる中において、今後、どのようにして入居者を確保していく考えなのか伺う。</p>	市長
		<p>3. 飼い犬・猫及び鳥類等のふん害の対策について</p> <p>最近、市民の方から、猫のふん害の被害が寄せられました。その方によると、近所で飼っている猫が庭にふんや尿をしていくために不快な思いをしていたとのことでした。そうした事情を猫の飼い主の方に説明したところ、ある程度理解を得ることができ、最近は不快な思いをすることも少なくなったとのことでした。しかし、その反面、話をしたが改善されることもなく、飼い主との人間関係が悪化することも少なからずあるとの話もお聞きしています。また、公園や河川の周辺では、犬の散歩をされる方のごく一部の飼い主により、ふんが公園や路上に放置されるような状況も見受けられ、小さなお子さんを連れた親御さんや祖父母の皆さんは衛生面で気を使うとおっしゃっていました。 そこで次の点についてお聞きいたします。</p> <p>(1) 本市において、犬や猫、鳥類等のふん害について、市民の皆さんから相談されるケースはどのくらいあるのか伺う。</p> <p>(2) 市民の皆さんからそのような相談があった場合、</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
5	2番 佐藤龍彦	<p>本市はどのように対応されているのか伺う。</p> <p>(3) 犬や猫等のふん害に対する条例を制定するなどの対策は考えられないのか伺う。</p> <p>(4) 鳥類（カラス・ハト）等のふん害被害に対しては、どのように対応されているのか伺う。</p> <p>(5) 今後、本市はこの問題にどのように対応されていく考えなのか伺う。</p>	市長
		<p>4. 住宅リフォーム助成について</p> <p>地域経済の活性化や雇用機会の拡大を図るために、住宅リフォーム助成について質問いたします。本市においても、平成23年に自宅を市内施工業者で修繕工事などを実施した場合、経費の一部を助成する「ほっと住居事業（住宅リフォーム補助金交付事業）」が創設され、住宅の安全性、耐久性、居住性の向上及び市内住宅関連産業を中心とする地域経済の活性化が図られました。現在本市の地域経済は、昨今の新型コロナウイルス感染症の影響や物価高騰の影響もあり、大変厳しい状況となっております。また、度重なる地震等による建物への被害も深刻です。</p> <p>そこで、住宅リフォーム助成について次の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 現在の本市の地域経済状況についての認識を伺う。</p> <p>(2) 住宅リフォーム助成について、どのような認識を持っているのか伺う。</p> <p>(3) 本市も住宅リフォーム助成を導入して、地域経済の活性化や地元企業の事業継続・雇用の機会拡大を図る考えはないのか伺う。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	13番 大森貴之	<p>1. 財政支出金の削減策について</p> <p>公共施設やインフラ整備等において、担当部署が設計、入札、施工を行うこととなりますが、工事内容によっては関連部署が連携して行われるものの、基本的には各課単独にて行われていることと存じます。工事の内容や、緊急性、工期等の都合上やむを得ない場合があることも承知しておりますが、同一区域での工事が繰り返されるケースが見られます。特に道路工事においては、いったん完了した舗装箇所を再度掘削していることがあります。特に上下水道事業に関連した工事に関してはその傾向が散見されます。</p> <p>(1) 市道中河原白石沖線の工事においては、拡張工事に伴い水道管の移設工事が一体的に行われますが、仮にこの工事を個別に行われた場合の経費はどの程度差が生ずるのかお伺いします。</p> <p>(2) これまで何度か漏水対策について質問をさせていただいており、各種対策を講じていただいておりますが、近年衛星写真を活用した漏水診断を用いた方法による漏水対策の実施報告があります。愛知県豊田市においてはこのシステムにより多くの成果を得ております。特に漏水箇所の特定作業時における試掘箇所数の減少や判定時間の短縮等において特筆すべき実証があり、人件費や工事費用の削減が行われました。本市としても、この衛星写真を利用して漏水対策を導入すべきと考えますが、ご見解をお伺いします。</p> <p>(3) 宮城県においては、各自治体の水道事業における経営の効率化の上から水道事業の広域化を推奨しており、多賀城市、塩釜市、利府町において推進されておりますが、本市としては隣接市町との連携についてどのようにお考えかお伺いします。</p> <p>(4) 衛星写真を活用した漏水対策においてネックになるのは衛星写真の購入費ですが、一般的に一つの県において必要とされるのは3枚であり、本市単独で購入することは厳しくとも、関係市町と共同購入することで費用が抑制されます。さらには水道メーターの検針作業や、点検補修、工事等で使用する材料等の一括購入ができれば、経費削減に繋がるものと考えます。このことを踏まえ、広域連携の上からも近隣市町との協議をすべきと考えますが、ご見解をお伺いします。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
6	13番 大森 貴之	(5) 県及び各自治体との連携はそれぞれの状況があり簡単にはいかないものと思いますが、庁舎内における連携を強化すれば経費削減が進み、他の事業や新たな施策に投入できる財源を生むことができると考えます。特に上下水道事業所との連携については、配管の更新工事を促進するためにも、何らかの道路工事がある場合は同時並行で行うべきと考えます。これを踏まえ、各課の連携システムを構築すべきと考えますがご見解をお伺いします。	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
7	14番 森 建 人	<p>1. インボイス制度について</p> <p>今年10月1日から、複数税率に対応した消費税の仕入税額控除の方式としてインボイス制度が開始される。インボイス制度の下では、税務署長に申請して登録を受けた課税事業者である「インボイス発行事業者」が交付する「インボイス」等の保存が仕入税額控除の要件となる。</p> <p>(1) インボイス制度の白石市経済への影響をどのように捉えているのかを伺う。</p> <p>(2) 市内の免税事業者がどのくらいいるのかを伺う。</p> <p>(3) 登録推進について伺う。</p> <p>(4) 白石市は登録するのかを伺う。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	12番 四 籠 英 夫	<p>1. 本市の森林行政について</p> <p>本市では令和2年度と3年度にわたり「森林アンケート調査」を実施しました。これは「森林経営管理法」に基づき林業の成長産業化の実現と森林資源の適正な管理の両立を図るため、伐採・造林及び保育などの経営管理が行われていない森林について、市が仲介役となり森林所有者と林業経営者をつなぐシステムを構築し担い手を探すことを目的としています。調査項目は詳細多岐にわたり、現状把握と所有者の森林に対する意識、今後の経営管理などについての調査が行われました。そして、昨年12月アンケート調査の結果報告書が配布されましたが、詳細な分析が行われた内容となっております。</p> <p>そこで、分析の結果からどのような実態が分かったのかお伺いいたします。</p> <p>(1) 現在の森林経営や管理について、どのような問題点があるかお伺いいたします。</p> <p>(2) このまま手を加えず経過した場合、どのような状況になることが予想されるか伺います。</p> <p>(3) それを防ぐためにどのような対策が必要か伺います。</p> <p>(4) 各地区に組織されている牧野農業協同組合などに働きかけることも必要かと思いますがいかがかお伺いいたします。</p> <p>(5) 森林組合との連携も重要と思いますがどのような連携を図るかお伺いいたします。</p> <p>(6) 法では所有者が経営管理困難な場合、市町村に経営管理を委託することができる。また、市町村は林業事業者に再委託することができることとされていますが、委託の申し出があった場合、どのような形で受託できるかお伺いいたします。</p>	市長
		<p>2. 鶴岡市の土砂崩壊事故について</p> <p>昨年12月31日に山形県鶴岡市で住宅の裏山が崩れ、住宅17棟を巻き込み2名の方が亡くなるという痛ましい事故が発生しました。原因は風化した地層に大量の雪解け水が浸透したことによる「深層崩壊」が起きたものとの報道がありました。こうした災害発生の危険な区域は全国にあるとされ、本市においても存在が</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	12番 四 籠 英 夫	<p>予測されます。行政ではそれらを検証し、住民に周知する必要があることから、他市町村では調査を開始していることが報道されました。</p> <p>そこで、本市における取組についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 災害発生の危険性があると思われる区域を抽出する調査は行われたのかお伺いいたします。</p> <p>(2) 本市の発行したハザードマップとは別に深層崩壊の危険性のある区域の抽出は行われたのかお伺いいたします。</p> <p>(3) 該当する地区に対してはどのような呼びかけをするのかお伺いいたします。</p> <p>(4) その地域に対してどのような対策を講じるのかお伺いいたします。</p>	市長
		<p>3. スポーツ協会への支援について</p> <p>白石市スポーツ協会は25団体、約千人が加盟し、スポーツの普及振興と健康増進、会員相互の親睦を図り市民生活の安定と市の発展に寄与することを目的に活動を続けています。年間の活動としては、しろいし蔵王高原マラソン大会、市民体育大会の開催のほか、加盟団体の活動の支援などを行っています。しかし、限られた予算の中で十分な活動が困難であるとの声が聞かれます。例えば、加盟団体の選手が全国大会などへ出場する場合の遠征費の援助や、外部講師を招聘して講演会や指導を受けるための経費などが挙げられます。協会活動の充実と加盟団体のさらなる強化を図るための支援が必要と思われませんが、お考えを伺います。</p>	市長 教育長
		<p>4. 中学校の部活動への対応について</p> <p>中学校の部活動は、放課後と土曜日曜など授業時間外に行われ、顧問の先生が指導と運営に当たっています。しかし、先生は授業の準備や進学指導、家庭との連絡など多忙な日々が続いています。さらに、競技経験のない部活動を担当することによる業務負担、休日の部活動に係る時間的負担など様々な課題があります。本市ではそうしたことを背景に「生徒にとって望ましい持続可能な部活動」「学校の働き方改革」を実現するため、部活動の顧問の代わりに土日休日に地域指導員が指導する「地域運動部活動推進事業」を試行的に導入しております。指導に当たるのは全国的に事業を</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	12番 四 籠 英 夫	<p>展開している法人です。対象校は東中学校で、種目は剣道、女子バレー、サッカー、卓球、陸上の5種目です。平日は学校部活動とし顧問の先生が指導に当たり、土日休日を地域部活動として地域指導員が指導に当たるといふものです。</p> <p>そこで、この事業についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 事業を導入したことによる効果について伺います。</p> <p>。</p> <p>(2) 顧問の先生や生徒からはどのような声が聞かれましたか伺います。</p> <p>(3) 顧問の先生と指導員との間で指導方針の違いや技術の違いなどによる問題はなかったでしょうか伺います。</p> <p>(4) 委託先の法人からの要望等はあったのか伺います。</p> <p>。</p> <p>(5) 東北地区では本市が唯一の導入とのことですが、導入に至った経緯を伺います。</p> <p>(6) 事業は令和4年度までの2年間で終了するとのことですが、継続して行う予定はあるのか伺います。</p>	市長 教育長
		<p>5. トルコ・シリア大地震に対する支援について</p> <p>2月6日に発生したトルコ・シリア大地震では死者が5万人以上になり、100万人以上の人たちが被災地で避難生活を続けていることが報道されています。マスコミからの報道に胸を締め付けられる思いがいたします。犠牲になられた方々への追悼の思いと一日も早い復興復旧を祈るばかりです。日本でも、平成7年の阪神淡路大震災、12年前の東日本大震災そして昨年、一昨年と続いた福島県沖地震と甚大な被害を経験しており、一層深刻な思いがいたします。世界各国から支援救援の手が差し伸べられており、日本からも救援隊が派遣されたとの報道がありました。</p> <p>そこで、次の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) この大地震をどのようにと捉えていますか、伺います。</p> <p>(2) 被災地に対する支援策は考えているか伺います。</p> <p>(3) 本市として募金活動などの呼びかけはお考えか伺</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
8	12番 四 籠 英 夫	<p>います。</p> <p>(4) 宮城県沖地震の再来も予測されている現在、災害に対する備えや心構えなど、市民に対してどのような呼びかけをするかお伺いいたします。</p>	市長
		<p>6. 火災多発の注意喚起について</p> <p>今年に入り市内において火災が多発しております。2月24日には1名の方が亡くなるという痛ましい火災が発生しました。亡くなられた方には心からご冥福をお祈りいたします。これから春に向かい空気が乾燥し火災が発生しやすい時期になります。より一層の火の用心を心がけなければならないと思います。</p> <p>仙南地域広域行政事務組合では火の用心7つのポイントを作成しておりますが、次の点についてお伺いいたします。</p> <p>(1) 市民に対してどのような方法で呼びかけをするか伺います。</p> <p>(2) 消防団とはどのような連携を図られるかお伺いします。</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	16番 菊地 忠久	<p>1. 本市のインフラ整備等について</p> <p>(1) 現在整備を進めている「(仮称)白石中央スマートインターチェンジ(以下、白石中央SIC)」及びその周辺整備について、かねてより山田市長は「白石中央SICとその周辺整備は、本市発展の起爆剤となる」と発言されております。令和5年度は本格的に工事に着手することになりますが、改めて白石中央SICとその周辺整備にかける思い・意気込みを伺います。</p> <p>(2) 新たな工業団地については、令和5年度から本格的に企業募集が開始されます。これまでの企業誘致の状況と今後の展望、企業誘致にかける思い・意気込みを伺います。</p> <p>(3) 令和2年3月、第439回定例会で、新たな住宅地を整備するべき旨の一般質問に対し、「新たな工業団地整備を念頭に宅地の確保の可能性を検討していきたいと考えております」と答弁されました。企業誘致を成功させるためにも宅地整備は極めて重要と考えますが、その後の検討状況を含め、改めて所見を伺います。</p> <p>(4) 白石中央SICと市街地中心部のアクセス向上のため、白石蔵王駅、東町、田町等からの新たな道路整備が必要と考えますが、所見を伺います。</p> <p>(5) 第六次白石市総合計画の基本計画の中に「安心して通行できる道路整備の推進」があります。そして、施策の方向性として「都市計画道路の見直しにより、過度な公共投資の抑制と効率的な都市計画道路の整備を図ります。」とあります。この見直しについては令和2年市長選挙における山田市長の公約の一つでもあります。現在の都市計画道路見直しの状況について伺います。</p> <p>(6) 国道4号の4車線化に向けた計画段階評価が国土交通省によって進められています。第2次白石市都市計画マスタープランにも整備推進が挙げられている、都市計画道路「沖ノ沢郡山線」の未整備区間の早期着手が必要と考えますが、所見を伺います。</p> <p>(7) 昨年8月に白石市無電柱化推進計画が策定されました。計画では平成13年度まで、白石駅東小路線と(仮称)白石中央工業団地線が無電柱化の着手を目指すこととなっております。白石駅東小路線については緊急輸送路の確保と白石城周辺の景観保全が目</p>	市長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
9	16番 菊地忠久	<p>的となっています。しかしながら、現在の白石駅前の通りは空き店舗が増加し、非常に活気がない状態です。</p> <p>第六次白石市総合計画には賑わいのある商店街の再生が掲げられておりますが、無電柱化に伴い、市街地中心部、特に駅前商店街について、将来的にどのような姿を描き、方向性を考えているのか、所見を伺います。</p>	市長
		<p>2. 連絡アプリについて</p> <p>現在、学校と家庭の連絡手段はプリントによるものや電話によるものが主流となっています。家庭との連絡用にアプリを利用している学校もありますが、あくまで補助的なものとして利用されているようです。アプリにはお知らせ配信、欠席連絡、例えば、連絡アプリを使うことで、欠席の連絡のための電話対応が不要になるとともに、先生方に情報の共有が可能になります。幼稚園や保育園では登降園の管理等も可能になります。連絡アプリは個別の学校ごとや自治体として導入する等、全国的に導入するケースが増えています。</p> <p>教員の業務の効率化や保護者の利便性向上に貢献する連絡アプリを導入すべきと考えますが、所見を伺います。</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
10	17番 佐藤秀行	<p>1. 認知症施策・高齢者支援等について</p> <p>認知症とは、一度正常に発達した認知機能が後天的な脳の障害によって持続的に低下し、日常生活や社会生活に支障を来すようになった状態を指します。認知症は高齢になるにしたがって増加し、超高齢社会の日本では約460万人（65歳以上の高齢者の約15%）が認知症を患っているとされています。今後も高齢化が進み、認知症の人は増えていくことが予想され、2025年には65歳以上の人口の約20%が認知症を有している状況になると推定されています。認知症では、物を覚えられない、今までできていたことができなくなるといった認知機能の低下による症状ばかりでなく、怒りっぽく攻撃的になる、意味もなく徘徊するなどの症状も見られます。認知症は、加齢とともに誰でも起こりうるものです。しかし、脳や心身を活性化させ、脳の健康を維持することが認知症の予防につながるとも言われます。認知症の予防法は難しいものではなく、日々の生活に取り入れやすいことが特徴です。</p> <p>地域包括支援センターでは、保健師、主任介護支援専門員、介護支援専門員、社会福祉士、歯科衛生士、認知症地域支援推進委員などが在籍しています。それぞれの専門性を生かし、チームとなって日々対応に当たっています。令和4年3月31日現在、白石市の65歳以上の高齢者は1万1,935人、高齢化率36.9%です。65歳以上の高齢者の認知症は、2025年には5人に1人の割合になると言われています。認知症は誰でもなりうることから、認知症への理解を深め、認知症になっても住み慣れた地域で日常生活を過ごせる社会を目指していくことが大切です。市長は、高齢者福祉の充実については、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、より一層の介護予防事業や認知症施策、高齢者福祉サービスの推進に努めると、話をされています。</p> <p>これらのことを踏まえてお伺いします。</p> <p>(1) 本市の現状を踏まえて、認知症に対する認識、理解についてお伺いします。</p> <p>(2) 本市のこれまでの認知症施策についてお伺いします。</p> <p>(3) 令和3年度の相談件数、相談内容等についてお伺いします。</p> <p>(4) 認知症サポーター養成講座の取組についてお伺いします。</p>	市長 教育長

順位	質問者	質問事項・要旨	答弁を求める者
10	17番 佐藤秀行	<p>(5) ヒアリングフレイルの取組についてお伺いします。</p> <p>(6) 高齢者補聴器購入費用助成事業についてお伺いします。</p>	市長 教育長
		<p>2. 旧白石市老人福祉センターについて</p> <p>昭和47年に開館し、平成19年に社会福祉法人白石ひまわりが運営する白石温泉薬師の湯(旧かんぼの宿)に老人福祉センターの機能を移管したことに伴い、現在閉館した施設となっています。既に閉館から16年が経過しています。日帰り入浴、休憩、趣味・教養活動の拠点として、重要な役割を果たしていました。しかしながら個別施設計画においても、施設の老朽化が顕著であることから、令和6年度までに解体するという方針が示されています。本定例会において、老朽化施設解体撤去工事に、工事請負費として予算が計上されています。</p> <p>このことを踏まえお伺いします。</p> <p>(1) 補修・修繕での利活用についてお伺いします。</p> <p>(2) 解体後の跡地活用についてお伺いします。</p>	市長
		<p>3. みやぎ蔵王白石スキー場について</p> <p>当スキー場は、今シーズンも積雪に恵まれコンディションもよく、多くのお客様にご利用いただいているようです。</p> <p>そこで次の点についてお伺いします。</p> <p>(1) リフト修繕工事についてお伺いします。</p> <p>(2) 第2リフトは当スキー場の中でも大変利用者も多く、新たにPコースも整備され、また4つコースにつながっているリフトでもあり、さらなる利用が望まれます。平成11年にペアリフトとして設置されてから23年が経過している第2リフトの架け替えについて、改めて市長の見解を伺います。</p>	市長